

3. 2から見た中心経営体の確保状況

<input type="radio"/>	担い手は十分確保されている
<input type="checkbox"/>	担い手はあるが充分ではない
<input type="checkbox"/>	担い手がいない

4. 将来の農地利用の在り方

取組事項	対応	備考
担い手に集積・集約化する	実施している	担い手の集積は農地中間管理事業を活用する。
担い手の分散錯圃を解消する	検討中	それほど分散していないが、集約化したい圃場はあるため、今後話し合いが必要。
新規参入を促進し、新規参入者に集積・集約化する	検討中	担い手不足が懸念されるため今後話し合いが必要。
耕作放棄地の発生防止	実施している	不作付地が発生しないよう転作作物を作付け。
その他[作業の集約化]	検討中	法人経営、集落営農等の話し合いが必要。

5. 4についての農地中間管理機構の活用方針

取組事項	対応	備考
地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に農地を貸し付ける	計画有り	貸し付ける場合は農地中間管理機構を活用する。
経営転換(リタイアも含む)する場合は原則として農地中間管理機構へ貸し付ける	実施している	〃
経営耕地の集約化のための利用権交換は原則として農地中間管理事業を活用する	計画有り	集約化を行う場合は農地中間管理権の権利移転を行う。
その他[地域での計画的な農地集積]	検討中	プランの話し合いの中で、機構の活用について今後更に話し合う必要がある。

6. 今後の地域農業の在り方

<p>課題 10年後には担い手の高齢化が進み、後継者不足等から耕作者不足が問題となる恐れがある。</p> <p>対策 他地区からの参入者、今後神代地区で中心的経営体となるであろう耕作者の確保、育成が必要となる。 地区内の担い手が不足しているところは、法人経営への転換や、機械の共同利用等を考える。</p>
--

3. 2から見た中心経営体の確保状況

○	担い手は十分確保されている
	担い手はあるが充分ではない
	担い手がいない

4. 将来の農地利用の在り方

取組事項	対応	備考
担い手に集積・集約化する	実施している	基盤整備地区は面的集積計画有り。
担い手の分散錯圖を解消する	計画有り	〃
新規参入を促進し、新規参入者に集積・集約化する	検討中	希望者がいれば検討する。
耕作放棄地の発生防止	実施している	不作付地の発生防止対策として転作作物の作付け等行っている。
その他[耕作条件の改善]	計画有り	基盤整備事業計画有り。

5. 4についての農地中間管理機構の活用方針

取組事項	対応	備考
地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に農地を貸し付ける	実施している	基盤整備事業地区で計画有り。実施済の農地有り。
経営転換(リタイアも含む)する場合は原則として農地中間管理機構へ貸し付ける	実施している	基盤整備事業地区で計画有り。
経営耕地の集約化のための利用権交換は原則として農地中間管理事業を活用する	計画有り	基盤整備事業に係る面的集積計画有り。
その他[地域でのまとまった農地集積]	計画有り	基盤整備事業計画有り。

6. 今後の地域農業の在り方

<p>課題 耕作条件の改善が必要。 担い手は十分確保されているが、高齢化による耕作者不足が問題化する可能性が大きい。</p> <p>対策 農地中間管理機構を活用し、地域での集積を進める。地域集積協力金を活用して基盤整備区域外の農道、用排水路を整備する。設立予定の法人、他地区からの参入者及び新規就農者への農地集積を進め、不作付地発生防止を図る。</p>
--